

シリーズ化し、各事業所における意思決定支援の取り組みを紹介しています。
7回目の今回は「ともいき宝池慈光」です。

「私らしくを大切に」



意思決定支援とは、一言で言えば権利擁護、もっと簡単に言えば「自分の事を決めるお手伝い」といえるのではないのでしょうか。

わたしたちが日々の利用者さん支援の中で、意思決定のお手伝いをする場面は多々あります。ただ、必ずしも自分の意思を言葉で伝えられる人ばかりではなく、表情や行動、仕草、言葉にならない言葉で伝えようとしている方もいます。そのような場合には、職員間で情報を共有し、時にご家族から情報提供を頂きながら、ご本人にあった支援をするため、間違った支援を行わないため、きちんと把握しておくことが大切だと思います。

エピソード①

利用者 Aさんは、自分の周りの物は拭くという行動がありました。Aさんの周りにある椅子や机、シンクや床まで拭き上げてくれていました。ただ、それぞれを拭くタオルは全て同じものを使っており衛生面を考えると少し課題がありました。その為、二組のタオルを用意しタオルを使い分けながら職員と一緒に拭くという経験もしましたが、時に拭く行動が激しくなってしまう事もありました。

Aさんの「拭く」という意思表示を受け止めながら、心情についても考察を行いました。Aさんはシンクやその周りの物など決まった場所を拭いている。共同のスペースではなく、自分の場所と思って綺麗にしているのではないかと。拭く行為を止める声掛けをすると怒っているような様子もあり、逆に見守っていると一連の動きを終えるとスッキリした表情も見られる。拭く範囲を決める、環境を整え確



実に出来る保障をすることも大切ではないか等。

その中で、拭くことをご本人の役割としてみてはどうかという意見が出ました。具体的には昼食前の机の消毒を担ってもらうことになり、翌日から配膳用エプロンを着用し職員と一緒に机を拭くAさんの姿がありました。まだまだ、色々な場所を拭きたいAさんですが、気持ちと状況に寄り添いながら、Aさんの意思を尊重する支援をおこないたいと思います。

エピソード②

利用者自治会がありますが、毎年選挙で3役(会長・副会長・書記)を決めています。プロセスとしては立候補、公約を発表、そして投票となります。まず立候補者ですが、三役合わせて利用者さんの半数以上が手を挙げ立候補します。

次は公約(当選したら頑張りたい事)の発表です。今までの公約として「バスにのってきます」「挨拶を頑張ります」「司会をがんばる」などがあります。言葉にできない方も担当さんと一緒に考え皆さんに伝えます。そして、最後は投票です。

立候補者の顔写真を載せた投票用紙を用意し、立会人は職員が努めます。ある方は自分が立候補し投票用紙に自分の顔が載っている



のにも関わらず、別の方に票を入れていました。票を入れた方にも頑張ってもらいたいという意思でしょうか。

晴れて当選した3役の方たちは1年間公約を守るように張り切る姿があり、公約に「挨拶を頑張る」と言った方は役を降りた今でも気持ちの良い挨拶をしてくれます。

慈光を利用されている23名の利用者さん一人ひとりの意志実現が出来るよう、これからも沢山の経験を積みながら、「私らしく」を大切にしていきたいと思っています。



★ きらきら星 みいつけた!

蓮の音こども園
発表会! どんご祭!!

令和5年11月3日(文化の日)

蓮の音こども園では、毎年、発表会として『どんご祭』を開催しています。今年度も秋空の下、クラスごとに発表を行いました。初夏のころから準備をはじめ、少しずつ少しずつ子どもたちの好きなこと、得意なことを取り入れ、発表の形に近づけていきました。クラス一丸となり、子どもたちの『楽しい』を合言葉に進めていきました。当日は、お家の方の応援もあり、緊張の中にも和やかなひとときを過ごすことができました。

きりん組



運動遊びの中「綱を引っ張る」ことから、「大きなカブ」をやってみました！
「うんとこしょ！どっこいしょ！」



どんご祭に向けて「カブ」の葉っぱを絵具でぬりぬり！真剣な表情で塗っています。
道具作りから本格的でした★



本番のダンスも音楽に合わせてノリノリで楽しめている姿や緊張したけどパパやママに頑張っている姿見てもらえてわくわくした表情ステキでした。

らいおん組



好きなキャラクターのお面をかぶって準備万端!!



ぬかるみで動けなくなったバスをみんなで押して助けてあげたよ。
やったー！ばんざーい★



うさぎ組



シールをカラフルに貼ったり、好きな色のペンで自由に色を付けたりして、自分たちで、どんご祭本番で着るオリジナル衣装を作りました。



たくさん練習してきたことを、パパやママが見守る中で上手に発表できました。
「わたしは発表直前にコンビ車がかげようになったよ！」



道標 (みちしるべ)

グループホーム職員 木下文夫

私は住吉寮の支援員だった頃から新聞記事のスクラップを始めていました。住吉寮の開所にあたり保護者の皆さんと建設予定地の草刈り作業を行った報道や、開所後数年経ってのプールの設置、作業小屋の設置、丸紅基金を活用した作業棟の建設などの細かな施設整備の状況が地域版のニュースになっていました。月影寮ではHさんの10年をかけた支援の結実である「就労」を取り上げた記事が印象的でした。慈光園では上田城址公園の清掃作業に取り組んでおり、上田市の職員や清掃員の皆さんが忘年会を開いてくださった様子が記事になりました。和順園では上田城址公園の樹木に小鳥の巣箱を設置して野鳥成育の環境整備を行った記事が話題になりました。私は2016年度に『法人設立100年史編纂』の特命を会長より頂き、編集委員会の過程で「月刊すみよし」や「月影通信」、甘露保育園の「園だより」蓮の音こども園の「どろんこ」などの形になった記録を収集することができ、更に多くの写真も集め、保管することができました。明照会ニュースそのものが後世への「記録」となっていくと思います。広報や資料をいかにす時が必ず訪れることでしょう。まさに継続は力なりです。

ところで、最近目にする障がい福祉や高齢者福祉のニュースには、事業所の指令取り消しとか虐待事案の記事が本当に多く読み手の気持ちを暗くさせます。グループホーム関係では「障害者への過大徴収・虐待問題化～グループホームに点検制度～(国)」、「グループホームの虐待通報を受理拒否(東京都)」、「知的障がい女性育児叶わず～グループホーム支援態勢なし～(神奈川)」と続きます。虐待関連では「佐久の障害者施設～個別支援計画未作成疑い～」(信毎11月16日)の記事が目にとまりました。

私が引っかけたのは掲載している施設の写真です。夜間に施設の外から内部の様子を撮ったものようですが「個別支援計画の未作成が疑われる障害者支援施設。内部には利用者とみられる人の姿も確認できた＝14日、佐久市」と解説がついています。そりゃ人はいるでしょ。もとより障がい者支援施設は生活施設であり、利用者にとっては権利擁護の砦となるものです。あたかも収監施設を連想させるような使い方には疑問が生まれました。明照会は施設や事業所間の連携もよく、職員研修の機会もしっかりとしていて蓄積があります。これらの機会を通じ、日々利用者の全人的理解を深めるとともに、それに応じた支援力を高めることが求められています。

12月3日～9日は障がい者週間でした。障がいのある人となない人がお互いを尊重し支え合う「つながり・支え合う地域共生社会」の実現を目指した取り組みです。私が楽しみにしているのは小中高校生と一般の「心の輪を広げる作文集」です。そこでは汚れない清らかな気持ちが、各自の体験を通して素直に表現されており、人間の普遍的なやさしさを感じ取ることができました。インクルーシブな社会づくりにつながることを期待しています。

思い出話に付け加えてもう一つ。『月影通信』のタイトル横に“無財の七施”(雑宝蔵経より)が掲げられていました。「施」とは仏道を成就するためにおこなう実践徳目(六波羅蜜)のひとつ「布施」のことです。その中には「和顔施」(いつも笑顔を絶やさないこと)とか「心施」(思いやりの心をもつこと)など日常の中でできることがたくさんあります。私たちの『明照会職員六つの心得』をあなたなりに深掘りし探求してみませんか。



味遊カフェニュース



前回のパンランキングに続き、今回は人気の珈琲ランキングをご紹介します！

第3位 カフェオレにもしても美味しい “ちょいにが” 第2位 しっかり深煎り “マンデリン”
そして第1位は・・・すっきり飲みやすい “JUN (順)”
コーヒーには良いと言われる効果がたくさんあります。コーヒーを飲んで「ホッ」と一息いかがでしょうか。コーヒーが苦手な方にも、味遊カフェには紅茶やハーブティーなどのドリンクもあります。こちらもどうぞ！



リレーコラム

前回のともいき宝池慈光の 大屋 勉さんからバトンを
受けとったのはともいきライフ月影の **竹森 勇二** さんです。

ともいき宝池慈光・大屋勉さんよりバトンを受け取りました、ともいきライフ月影の竹森です。

バトンを受け取ったものの、私にはこれと言って皆さんにお伝え出来るような事はありません。どうしたものかと考え、これをきっかけに何かを始めようと思いましたが、中学生の次女に相談した所、「父ちゃん脳トレした方がいいよ？」とのこと。たしかに元々ボケてはいるが、最近拍車がかかっている気がする。話したいことがあっても言葉がスムーズに出ず、「あれ」「それ」ばかり。携帯も何処に置いたかすぐ忘れてしまいます。このままではまずい！仕事に支障が出るし、このまま行ったらしあわせな老後が送れない。

脳トレといえば、本だ！本屋に直行し、見つけたのが「脳が若返る！90日間ドリル」です。「脳が活性化すれば、物忘れ・うっかりミスが減る！」この言葉が心に突き刺さり購入をしました。内容は、パズル、クイズ、計算、漢字、地理、歴史、塗り絵など様々で、難易度が、1~3まであり、それぞれに目標時間が設定してあります。

いざやってみると、レベル1は簡単で目標時間内にすらすらと解きました。簡単なので楽しいです。確かに脳を使っている感覚もあります。「90日間」ドリルですが時間が無いので、どんどん進めていきます。しかし、問題が発生しました。レベル2くらいから、知識の無さから、答えがわからない物が増えてきました。レベル3になると、答えが出ず、途中で諦める物がほとんどでした。自分の知識の無さにガッカリです。心が折れそうになりましたが、何事も継続が大事だと思うので、これからも脳トレを頑張りたいと思います。この他に、毎日指まわしと、朝夕白湯を飲んでいきます。心も体もリフレッシュです。内容のない話で大変申し訳ありませんでした。しかし、自分を見つめなおす良いキッカケになりました。バトンを渡して下さった大屋さんに感謝です。有難うございました。



竹森さんありがとうございます！
さて次回のリレーコラムは...

『ともいきライフ月影 **大澤 清志** さん』です。
よろしくお願いします！

編集 後記

令和5年も後わずかとなりました。今年は皆さんにとってどんな年でしたか？学校の修学旅行も以前のように行かれるようになり、私の息子も大阪 京都 広島へ行きお土産を買ってきて、楽しい思い出話をしてくれて、コロナ以前に戻っている事を実感しました。その反面、世界では戦争が続き、大切な命が奪われている状況で、早急に世界的な対応が迫られています。考え方もいろいろあると思いますが、組織の中で目的を共有できず、課題解決が困難な状況で、リーダーが先導し指示を出した方が物事は早く完結する事もあります。時に間違った方向に行ってしまう事があります。やはり、それぞれが課題に向け、チャレンジ型でいろいろな人が意見を出し合い、未来に向かって話す事、そして、みんなでどうしたいかを考える集団になる事が大切だと思います。何が答えかわからない時、みんなで話し合っって同じ方向を向いて行かれる令和6年辰年になったら良いなと思います。

広報・情報処理管理委員長 今井拓士



今すぐ
ホームページを
チェック！



<https://ueda-mei-shoukai.or.jp/>

社会福祉法人
上田明照会

♡癒しのじ・か・ん♡

「私が頑張れる理由」

「いつかしてやりたいこと」

